

数学B ベクトル方程式 (直線) 演習プリント

1

次の点  $A$  を通り、 $\vec{d}$  が方向ベクトルである直線の媒介変数表示を、媒介変数を  $t$  として求めよ。また、 $t$  を消去した式で表せ。

- (1)  $A(3, 5)$ ,  $\vec{d}=(1, 2)$                       (2)  $A(4, -2)$ ,  $\vec{d}=(2, -1)$   
 (3)  $A(0, 2)$ ,  $\vec{d}=(3, 1)$

2

次の2点を通る直線の媒介変数表示を、媒介変数を  $t$  として求めよ。

- (1)  $A(1, 3)$ ,  $B(2, 4)$                       (2)  $A(1, 2)$ ,  $B(-1, 3)$   
 (3)  $A(-1, 0)$ ,  $B(0, -2)$

3

次の点  $A$  を通り、 $\vec{n}$  が法線ベクトルである直線の方程式を求めよ。

- (1)  $A(3, 2)$ ,  $\vec{n}=(4, 5)$                       (2)  $A(3, -2)$ ,  $\vec{n}=(-4, 1)$   
 (3)  $A(2, -1)$ ,  $\vec{n}=(-1, 0)$

4

次のような直線の方程式を、ベクトルを利用して求めよ。

- (1) 点  $A(1, 2)$  を通り、2点  $B(1, 3)$ ,  $C(3, 7)$  を通る直線に平行な直線。  
 (2) 点  $A(3, -1)$  を通り、 $OA$  に垂直な直線。ただし、 $O$  は原点とする。

5

次の2直線のなす鋭角  $\alpha$  を求めよ。

- (1)  $\sqrt{3}x+3y-1=0$ ,  $-x+\sqrt{3}y-2=0$   
 (2)  $2x+4y+1=0$ ,  $x-3y+7=0$

6

$\triangle ABC$  の頂点  $A, B, C$  の位置ベクトルを、それぞれ  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  とする。直線上の点を

$P(\vec{p})$  として、次の直線のベクトル方程式を求めよ。

- (1)  $A$  から直線  $BC$  への垂線                      (2)  $A$  と辺  $BC$  の中点を通る直線  
 (3) 辺  $BC$  の垂直二等分線

1

(1)  $(x, y) = (3, 5) + t(1, 2)$  から  $\begin{cases} x = 3 + t \\ y = 5 + 2t \end{cases}$   
 $t$  を消去して  $x - 3 = \frac{y - 5}{2}$  から  $2(x - 3) = y - 5$   
 よって  $2x - y - 1 = 0$

(2)  $(x, y) = (4, -2) + t(2, -1)$  から  $\begin{cases} x = 4 + 2t \\ y = -2 - t \end{cases}$   
 $t$  を消去して  $\frac{x - 4}{2} = -y - 2$  から  $x - 4 = 2(-y - 2)$   
 よって  $x + 2y = 0$

(3)  $(x, y) = (0, 2) + t(3, 1)$  から  $\begin{cases} x = 3t \\ y = 2 + t \end{cases}$   
 $t$  を消去して  $\frac{x}{3} = y - 2$  から  $x = 3(y - 2)$   
 よって  $x - 3y + 6 = 0$

2

(1)  $(x, y) = (1 - t)(1, 3) + t(2, 4)$  から  $\begin{cases} x = 1 + t \\ y = 3 + t \end{cases}$   
**参考**  $(x, y) = (1 - t)(2, 4) + t(1, 3)$  から  $\begin{cases} x = 2 - t \\ y = 4 - t \end{cases}$   
 でもよい。(一般に、媒介変数表示の仕方は1通りではない)

(2)  $(x, y) = (1 - t)(1, 2) + t(-1, 3)$  から  $\begin{cases} x = 1 - 2t \\ y = 2 + t \end{cases}$

(3)  $(x, y) = (1 - t)(-1, 0) + t(0, -2)$  から  $\begin{cases} x = -1 + t \\ y = -2t \end{cases}$

3

直線上の任意の点を  $P(x, y)$  とする。

$\vec{AP} \perp \vec{n}$  から  $\vec{n} \cdot \vec{AP} = 0$

(1)  $\vec{AP} = (x - 3, y - 2)$ ,  $\vec{n} = (4, 5)$  から  
 $4(x - 3) + 5(y - 2) = 0$  すなわち  $4x + 5y - 22 = 0$

(2)  $\vec{AP} = (x - 3, y + 2)$ ,  $\vec{n} = (-4, 1)$  から  
 $-4(x - 3) + (y + 2) = 0$  すなわち  $4x - y - 14 = 0$

(3)  $\vec{AP} = (x - 2, y + 1)$ ,  $\vec{n} = (-1, 0)$  から  
 $-(x - 2) + 0 \cdot (y + 1) = 0$  すなわち  $x = 2$

4

(1) 求める直線は、点  $A(1, 2)$  を通り、 $\vec{BC} = (2, 4)$  が方向ベクトルである直線である。  
 よって  $4(x - 1) - 2(y - 2) = 0$  ゆえに  $2x - y = 0$

(2) 求める直線は、点  $A(3, -1)$  を通り、 $\vec{OA} = (3, -1)$  が法線ベクトルである直線である。  
 よって  $3(x - 3) - \{y - (-1)\} = 0$  ゆえに  $3x - y - 10 = 0$

5

与えられた直線を順に ①, ② とする。

(1)  $\vec{m} = (\sqrt{3}, 3)$ ,  $\vec{n} = (-1, \sqrt{3})$  とすると、 $\vec{m}$ ,  $\vec{n}$  は、それぞれ直線 ①, ② の法線ベクトルである。

$\vec{m}$  と  $\vec{n}$  のなす角を  $\theta$  とすると、求める角  $\alpha$  は  $\theta$  または  $180^\circ - \theta$  に等しい。

よって

$$\cos \theta = \frac{\vec{m} \cdot \vec{n}}{|\vec{m}| |\vec{n}|} = \frac{\sqrt{3} \times (-1) + 3 \times \sqrt{3}}{\sqrt{(\sqrt{3})^2 + 3^2} \sqrt{(-1)^2 + (\sqrt{3})^2}} = \frac{1}{2}$$

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$  であるから  $\theta = 60^\circ$

$0^\circ < \alpha < 90^\circ$  であるから  $\alpha = 60^\circ$

(2)  $\vec{m} = (2, 4)$ ,  $\vec{n} = (1, -3)$  とすると、 $\vec{m}$ ,  $\vec{n}$  は、それぞれ直線 ①, ② の法線ベクトルである。

$\vec{m}$  と  $\vec{n}$  のなす角を  $\theta$  とすると、求める角  $\alpha$  は  $\theta$  または  $180^\circ - \theta$  に等しい。

よって

$$\cos \theta = \frac{\vec{m} \cdot \vec{n}}{|\vec{m}| |\vec{n}|} = \frac{2 \times 1 + 4 \times (-3)}{\sqrt{2^2 + 4^2} \sqrt{1^2 + (-3)^2}} = -\frac{1}{\sqrt{2}}$$

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$  であるから  $\theta = 135^\circ$

$0^\circ < \alpha < 90^\circ$  であるから  $\alpha = 180^\circ - 135^\circ = 45^\circ$

6

(1) 点 A を通り, BC に垂直な直線であるから, そのベクトル方程式は

$$\overrightarrow{AP} \cdot \overrightarrow{BC} = 0 \quad \text{すなわち} \quad (\vec{p} - \vec{a}) \cdot (\vec{c} - \vec{b}) = 0 \quad ((\vec{p} - \vec{a}) \cdot (\vec{b} - \vec{c}) = 0 \text{ でもよい})$$

(2) 辺 BC の中点を M( $\vec{m}$ ) とすると  $\vec{m} = \frac{\vec{b} + \vec{c}}{2}$

よって, 求めるベクトル方程式は

$$\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{m} \quad (t \text{ は実数}) \quad \text{すなわち} \quad \vec{p} = (1-t)\vec{a} + \frac{t}{2}(\vec{b} + \vec{c}) \quad (t \text{ は実数})$$

(3) 辺 BC の中点 M を通り, 辺 BC に垂直な直線であるから, そのベクトル方程式は

$$\overrightarrow{MP} \cdot \overrightarrow{BC} = 0 \quad \text{すなわち} \quad \left( \vec{p} - \frac{\vec{b} + \vec{c}}{2} \right) \cdot (\vec{c} - \vec{b}) = 0$$

$$\text{整理して} \quad 2\vec{p} \cdot (\vec{c} - \vec{b}) = |\vec{c}|^2 - |\vec{b}|^2$$